

平成 30 年8月 東御市教育委員会 定例会会議録

1 日 時

平成 30 年(2018 年)8月 30 日(木) 午前9時 06 分から午前 10 時 19 分まで

2 場 所

中央公民館 応接室

3 議 題

(1)協議(審議・検討)

議案第 29 号 就学援助費支給の認定について

議案第 30 号 東御市における部活動等運営指針(案)について

(2)報告

ア 教育課

(ア) いじめ、不登校の状況等について

(イ) H29 年度学校給食費の納入決算状況について

(ウ) 第 39 回北信越中学校総合競技大会の結果等について

イ 生涯学習課

(ア) 成人式実施結果について

4 出席者

○教育長 小山 隆文

○委員

教育長職務代理者 下村 征子

委員 小林 経明

委員 小林 利佳

委員 直井 良一

○その他

横関教育次長、柳沢教育課長

小林学校教育係長

畑田指導主事、長岡指導主事、若林学校教育係主査

会議録

横関教育次長

ただいまから、8月定例教育委員会を始めます。教育長から開会宣言をお願いします。

小山教育長

8月定例教育委員会の開会を宣言します。

平成31年度予算にかかる実施計画が策定される時期となりましたが、財政状況がことさらに厳しい中、教育委員会部局としても相応の予算削減を求められております。

CRT(標準学力検査)の見直しを行い、中学校で実施しているアセス(学校適応感尺度)を小学校へ導入し授業改善を促したり、支援の必要な児童生徒に対し、従来どおりに支援員を配置するのではなく、担任を中心としたチーム支援へ変えながら人件費を削減するなど、今後の施策に具体的なビジョンをもって対応していく必要があります。

(1)協議(審議・検討)

小山教育長

議案第29号 就学援助費支給の認定について、説明を求めます。

小林学校教育係長

平成30年度就学援助費支給の申請について、説明します。

(説明内容 非公開)

小山教育長

異議ありますでしょうか。

全委員

異議なし。

小山教育長

議案第29号 就学援助費支給の認定について承認されました。

続きまして、議案第30号 東御市における部活動等運営指針(案)について、説明を求めます。

畑田指導主事

東御市における部活動等運営指針(案)について、説明します。

国のガイドラインに基づき、県から市町村に対し部活動等運営指針の見直しを求められている

ことから添付資料のとおり作成しました。(資料説明)

各学校へ周知し、9月1日から運用を始めたいと考えています。ガイドラインについては、国と県との指針に差異が見られることから、新たに県の指針が出されると思われ、その際は再度見直しを行います。

小林経明委員

昨今問題になっている部活動の延長にある社会体育については、その定義が保護者や関係者に理解されていないのが現状です。体育協会とすると、日本体育協会の規定するコーチの資格を持ち、市体育協会に属している者が教える活動が社会体育としての定義であり、経験者や保護者が主導となっていく活動は社会体育として認めていません。

畑田指導主事

部活動のあり方については内規として扱われていた今までの実態に対し、今回、指針を整備することでホームページ等公表することが義務付けられ、各家庭へ周知されていきます。部活動に対し、統一されたガイドラインのもと、都合の良い解釈をしないよう教員の意識を変えていく必要があります。

小林経明委員

社会体育の定義、活動時間、誰が指導するかを明確化し、部活としての規範が示されればよいと考えます。

畑田指導主事

今後は部活動に対し、教員がどのような意識を持っているかアンケートを行いながら調査する予定です。働き方改革と生徒の健康面の両面から部活動のあり方について検討が必要です。

小山教育長

校長会において、子どもと向き合う時間をできるだけ多く確保しようとする、授業に向き合うための時間、教材を研究する時間が足りなくなってしまう、という話題がありました。中学校の部活動についてもその要因になってしまう可能性があります。準備不足が原因で、子どもたちが授業をつまらないと感じてしまい、不登校に発展してしまうこともあります。

他県では社会体育を活用して部活動の大会で結果を出しているケースも見られます。部活と社会体育が役割分担しながら、今後の部活動のあり方を考えていく必要があります。

将来的な影響を多角的に捉えつつ、年度内に県のガイドラインが見直されることを踏まえ、部活動については、当面東御市における部活動等運営指針(案)のとおり運用することに異議ありませんでしょうか。

全委員

異議なし。

小山教育長

議案第 30 号 東御市における部活動等運営指針(案)について承認されました。

続きまして、(2)報告に移ります。順次報告願います。

長岡指導主事

ア 教育課(ア)いじめ、不登校の状況について報告します。

平成 30 年度7月末現在、不登校等の児童生徒の状況及びいじめ・いじめと思われる把握件数集計表は資料のとおりです。(説明内容 非公開)

小林学校教育係長

(イ) 平成 29 年度学校給食費の納入決算状況について報告します。

平成 29 年度においては給食費の滞納はありませんでした。(資料説明)

(ウ) 第 39 回北信越中学校総合競技大会の結果等について報告します。

- ・ 中体連夏季大会北信越大会 (石川県) 結果
- ・ 音楽コンクール結果 (資料説明)

横関教育次長

イ生涯学習課 (ア) 成人式実施結果について報告します。

8 月 15 日に開催された平成 30 年度成人式の成人式対象者 299 人中、222 人の出席がありました。来場者に成人式の開催時期についてアンケートを行ったところ、大多数が今までどおり夏の開催が良いと言う結果でした。県内市町村 77 中、40 市町村が夏の開催であり、全県的な傾向にあります。

小山教育長

その他として何かご質問はありますか。

直井委員

先日、市から各学校への空調設備設置が表明されましたが、詳細な説明をお願いします。

小林学校教育係長

今夏の暑さで県内全市町村が国へ空調設置に向け補助要望を表明した中、当市は昨年度から国への予算要望の準備を進めてきました。

9月議会にて空調設備設置の設計業務についての補正予算を計上しました。全普通教室と主な特別教室を対象に、学校と十分協議しながら、設計の中で詳細な仕様を決めたいと考えています。今後のスケジュールは11月に国の学校施設環境改善事業へ予算要望を行い、国の予算措置に合わせて進めていく予定です。

直井委員

財政状況が厳しいのは理解できますが、支援を必要とする子どもが増え続けている現状を踏まえると、予算削減をすることによる支援の人員の減員は理解し難い思いがあります。教育は国の根幹ですので、教育部門への予算配分には十分配慮していただきたいと思いません。

畑田指導主事

支援する人員を増やした結果、本来学級担任がすべき役割が担えなくなっているという側面も見えます。特別支援学級がほとんどない都道府県もある中、教員の技量を高めることも視野に入れていかなければいけないと思います。今後は現場で苦しい局面もあるかもしれませんが、支援人員を減らしてもクラスを運営していけるような方向を考えています。

小山教育長

支援が必要な子どもが増えている現状への対策強化はもちろん、今年度取り組み始めたインクルーシブ教育についても、障がいを持った子どもであっても通常学級で学校生活を送れるよう、教員の理解とスキルアップ研修を行ってきました。障がいを持った子どもにいかに寄り添えるか、寄り添うことができるようになったことで、他の子どもたちの成長にプラス効果が大きいと期待できることから、今後も継続して取り組んでいきたいと考えます。

今後もますます厳しい財政状況が続いていく中、政策的に大きな決断が迫られることも予想されますが、皆さんのお力添えを頂きながら乗り切りたいと思います。

本日の議題は以上です。それでは、8月定例教育委員会を閉会します。